



関宮学園

学校だより6号
R6. 5. 27

校訓「敬・愛・信」

授業参観、PTA総会、懇談会を開催

授業参観、PTA総会と学級懇談会へのご参加ありがとうございました。子どもたちの学校生活の一端をご覧いただけたかと思えます。ご欠席の方もいらっしゃいましたので、PTA総会でご挨拶させていただいた内容を一部加筆してお伝えします。



関宮学園に着任してから、約1か月が経過しました。その間、さまざまな人に出会いました。その中には、久しぶりに再会した教え子もいます。今では、関宮学園の児童生徒の通学バスの運転を担っている者、金融機関に勤めている者、家業を継いでいる者など、各人が自立して関宮のまちを支えています。こんなにうれしいことはありません。教師冥利に尽きます。現在、関宮学園で学んでいる子どもたちにも、将来、自立して幸せに生きていける力を身につけさせたいと思っています。

(ここからは加筆部分です)

また、将来、このまちを支える人になってほしいです。支え方は、人それぞれです。関宮に住んで、直接的に支える人もあれば、他のまちに住みながら、間接的に支援する人もいるでしょう。いずれにしても、いつまでも、故郷を思い続けてほしいです。

市広報やぶ5月の19ページ「まちの文化財」に、故郷を発展させようと主体的に学問に取り組んだ子どもたちの話が掲載されていまして紹介します。「明治22年1月25日、高柳の5人の少年が養父神社に参拝し、知識と実業で高柳を発展させようと夜学を始めました。当時の小学校は、4年制でした。同年11月3日に進智共会という夜学会を設立しました。一週間のうち4晩が学業で、3晩は縄をない、縄を売ったお金でランプ代、筆墨紙、書籍などの学用品を買いました…」

よりよく生きようとした先人の姿に感心するとともに、少しでも近づけるよう自分たちは何ができるのか考えさせられる記事でした。

また、市広報やぶ5月に、1・2年生が稚鮎の放流を行った様子が掲載されています。

養父市社協だより「かけはし」5月には、ランドセルカバーの贈呈について掲載されています。ご覧ください。

全力挨拶

私のこれまでの経験だと、年齢とともに（中学生になると）挨拶の声が小さくなっていく傾向にあります。本校の後期課程の生徒は元気のよい挨拶ができますが、前期課程の児童から刺激を受けている面もあります。朝のあいさつ運動をしていると、児童の大きな声につられて生徒も大きな声で挨拶をします。朝から気持ちがよいです。



4月の学校だよりで、義務教育学校の強みとして、下級生が上級生を見本として真似ることができるを紹介しましたが、上級生が下級生を真似ることもあってよいと思います。9学年がともに学ぶ本校のよさです。

教職員の紹介

前期課程養護教諭の初任者研修に伴い、研修時に保健室の業務を担う職員として、上田美穂子先生が着任しました。今後は、研修時（不定期）に勤務します。



また、先日から、陸上部（シーズン制）の活動を始めています。部活動の地域移行を踏まえて、部活動指導員として、今年度も田中耕治さんに指導いただいています。

関宮学童クラブの移転

養父市では、放課後や長期休業中に、共働き家庭等の子どもたちに遊びや生活の場を提供する学童クラブを開設しています。関宮学童クラブは、これまで、あららぎ研修センター内で開設していましたが、6月から前期課程校舎内に移転します。

草刈りありがとうございました

初夏の訪れとともに、校地内の草も伸びてきました。先日、おそらくご近所の方かと思いますが、関宮こども園側の草を刈っていただいております。こうして、学校は地域の方に支えてもらっているのだと改めて実感しました。ありがとうございました。本校では、学校支援ボランティアを募集しています。学校環境整備や子どもたちの活動の見守りなどにご協力いただける方は、学校（TEL667-2759）までご連絡をお願いします。

「5月11日夜、日本各地でオーロラを観測」というニュースがありました。香美町でも観測できたようです。残念ながら、私とそのニュースを知ったのは翌12日でした。痛恨です。私の夢の一つはオーロラを見ることですので…次のチャンスに期待します。子どもたちには、さまざまなニュースに関心を持ってもらいたいと思っています。